



NO. 935  
 発行  
 2018年  
 1月30日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 加藤 秀夫  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 組織・強化拡大へ

## 地本新春学習会と旗開きの開催

地本「新春学習会&旗開き」が1月20日、新潟市「東映ホテル」で開催されました。退職者組合の方々を含め全体で31名が参加しました。

旗開きの前段、10時30分から学習会を開催、今回は「年金問題」について学習を深めました。

講師に、退職者組合東京地連常任委員・大井工場支部事務局長の津留崎新一氏を要請しました。

学習会は10時30分から12時15分まで講演と質疑応答など行いました。



その後、12時25分頃から旗開きを開会しました。

### 加藤委員長のあいさつ



明けましておめでとうございませう。1月11日、4時44分が帯織く東光寺駅間で15時間半も立ち往生した。これに対して来週、会社へ緊急申し入れをする。

そして、5月24日と25日に開催されるエリア本部の野球大会の参加をお願いしたい。新潟地本として不参加にはならないので。ケガをしないように無理しない程度で良いのをお願いしたい。

今年も、さまざまな課題がある。最重要課題は組織拡大だ。がんばっていきましょう。

## 拡大地方委員会の開催 2月24日(土) 地本事務所

拡大地方委員会の前段に春闘学習会を開催します。今回は「労働法制改悪阻止」の運動が中央、地方でナショナルセンターを越えて結集し取り組みが展開されています。中央情勢や今後の取り組みについて、国労東日本本部から講演していただきます。

### 国労東日本本部 矢部副委員長あいさつ



○コンプライアンス違反が大企業などで発生している。JRはどうか。JR東日本管内で電車が15時間半も立ち往生した。どういうふうに乗客を救済するのか。乗客全員をいっぺんに救済することを考えていた。これについて疑問。これらの対応について労働組合として問うていく。

●重大事故が発生している。新幹線の台車が亀裂が発生したが運行を継続した。止められなかったのか。なぜ止められなかったのか。新幹線を止めるのは難しいという現状、職場の雰囲気、会社の体制がその職場環境をつくらせていると思う。



問題を突きつけていく。国労として会社へ訴えていく。

○組織強化・拡大について、組織の将来を考えると全体で協力して取り組んでいくこと。東京地本で国労加入があった。職場の不満・不安の表われだ。それを取り上げて拡大に結び付けていくこと。今年一年粘り強くがんばっていきましょう。



旗開きは、うたごえなど合唱があり会場は盛り上がりました。最後に参加者全体で国鉄労働組合を合唱、肩を組みながら歌い素晴らしい雰囲気になりました。

最後は、加藤委員長の団結がんばろうで、さらに深めました。



# マクロ経済スライド 年金問題について

講師・津留崎新一氏

今回の新春学習会は「年金問題」について学習しました。講師に退職者組合の津留崎新一氏から講演していただきました。



## マクロ経済スライドは 徐々に年金を減らしていく

マクロ経済スライドは機能していない。高齢化社会が進む。現職が減少していくと年金が支給できなくなる。マクロ経済スライドは、年金を徐々に減らしていくこと。年金を減額1%・1年では少ないが10年・20年となると高額となる。減額が多くなる。年金水準を下げていく。年金減額制度はマクロスライド制度。これ以上下げさせる取り組みを進めている。退職者は要求に対して政府と交渉している。厳しい状況の中での運動だ。



①年金を支える人が減っていく。人口減少・2050年には1億人を割る状況になる。出生率が1・8以上でなければ人口が減る。

日本は1・43（出生率）

## ②厚生年金加入者を増やす

非正規者の加入数が少ない。賃金が低いから額が少ない。保険料（年金掛け金）が安い。非正規について政府へ活用を要求していく。

## ③非正規の社会保険の改善を図る

現状の賃金では子どもをつくれにくい。どう改善するのか。結婚もできない。パート労働者（勤続10年・20年）厚生年金に加入している。非正規労働者は全体の4割くらいだから雇用状況が不安定だ。

## ④社会的扶養が充実

公的年金は国民年金・厚生年金は社会的扶養が充実している。年金水準を上げる。足りないものは私的年金で補う。企業年金は会社が全額負担している。現在は、労使で折半している。

企業は全額負担で運営できなくなっている。労働組合にも責任を負わせる。保険年金は満額時に支給される。企業年金や保険年金は政府が誘導。70歳で年金支給し健康な人は支給年齢を上げる。延ばした場合、年金額が1年7%・8%上がる。政府は個人年金の充実を図る。生活、年金の格差が発生する。年収が高額な人は多くなる。私的年金を拡大させる。公的年金を全体で支えようこと。公的年金に優るものは無い。私的年金は駄目だ。公的年金を充実させる。

JRの企業年金を変質した。労働組合と協議して決めている。責任を持たせる。企業年金がつぶれている現状だ。会社が不安定だから労働組合にも責任を持たせる。

## ⑤社会保障制度

どうしていくのか。少子高齢化の中でどう進めていくのか。全政党に対して5年・10年かけて議論、検討する。制度をつくる。社会保障制度についての、あり方を検討すること。全政党へ要求していく。全労働者へも呼びかける。年金問題の改善は少子高齢化の改善だ。

## ○年金カット法

年金額を下げないで調整する。歯

止めをしてきたが、これを外す危機感。物価が下がって賃金が下がると年金も下がる。5年間で見直す。もともとマクロ経済スライドは年金を上げることだった。しかし物価が下がると年金も下がる。

## ○名目年金を守る

名目年金を守る。法律上、歯止めを崩す。現在の年金を切り下げる。名目年金を守ることは重要だ。下げると生活が維持できない。2021年に改正される。OBは権利が無い。政党を通じて努力していく。

## ○国鉄・高額保険料になっている

保険料・18・3%の上限を維持する。配分は厳しくなる。

## ○最低保障年金は7万円

守れることで生活が維持できる。基準年金を7万円から8万円へ。

## ○消費税を上げることを止める

社会保障費に充当すること。社会保障費に当てるなら支持する。

## ○積立金の運用

国内も債権中心。安定運用を進めてきたが増やすために外国へ手を出した。運用して赤字になった。運用について監視委員会が必要だ。

# マクロ経済スライド 非常に危険なものだ

マクロ経済スライドは非常に危険なものだ。国へ基本のあり方を問うという問題。制度がつくられ国民全体に影響がある。

改善しろということは弱い、要求をまとめて全国の退職者組合と連合と協議して、社民、共産、立憲など頼りにして中心に、我々の要求を政府にぶつける。要求を進めていくこと。

